



## 専門家と市民で考える公開市民講座 「食とエネルギー問題から市民生活の近未来を考える」を開催

### 概要

九州大学大学院農学研究院は、平成24年12月1日（土）に、九州大学西新プラザ（福岡市早良区）で、食とエネルギー問題に関する公開市民講座「食とエネルギー問題から市民生活の近未来を考える」を開催します。

本講座では、生活に密接に関連する食とエネルギーについて、専門家の意見を交えて一般市民と考える場を提供します。特に、代替エネルギーを中心に今後のエネルギー利用や市民生活への関わり、環境変化や経済状況による食糧生産・食生活に着目し、エネルギーと食・農業問題の技術的・社会的接点を中心に、持続可能で生活を次世代へ継承する道について、市民の皆様とともに議論する予定です。

### 背景

現在の農業は、多大なエネルギー消費なしには存続できず、エネルギーの潤滑な供給が食糧確保には必須で、エネルギー問題と食糧問題は密接に関係しています。エネルギー問題については、原子力発電の賛否や代替エネルギーへの期待も含め、政策転換期にあります。また、食の問題についても、急激な人口増加やTPP（環太平洋経済連携協定）などの課題に直面しています。

このような状況を踏まえ、本講座では、再生可能エネルギーの実現可能性と市民生活への影響について、専門家から報告を行ったうえで議論します。特に、福岡・九州エリアをモデルとして、環境に優しく豊かな生活をどのように次世代へ継承できるか、具体的な事例についても考えていきます。

### 内容

今回の市民講座では、再生可能エネルギーや食問題の専門家を講師として招き、講演を行います。また、パネル・ディスカッションでは、参加者との討論も行います。

1. テーマ 「食とエネルギー問題から市民生活の近未来を考える」
2. 日時 平成24年12月1日（土）  
受付：12時30分～ 開演：13時～ （17時終了予定）  
※事前申し込み不要、入場無料。
3. 会場 九州大学西新プラザ 大会議室 （福岡市早良区西新 2-16-23）

### 4. プログラム

#### 第一部 講演

- (1) 「地熱エネルギーの開発と利用」  
糸井 龍一 九州大学大学院工学研究院教授
- (2) 「再生可能エネルギー・食料・水との連鎖」  
杉本 完蔵 ソーラーフロンティア(株)総合企画部参事・(社)日本太陽光発電協会幹事
- (3) 「コンピュータを使って風の流れを見る・知る・風力発電における風況診断の重要性」  
内田 孝紀 九州大学応用力学研究所准教授

## 第二部 講演

- (4) 「現代における食料消費のあり方を考える」  
福田 晋 九州大学大学院農学研究院教授
  
- (5) 「有機性廃棄物からエネルギーを生むアジアの取り組み」  
矢部 光保 九州大学大学院農学研究院教授
  
- (6) 「人口減少のもとでの食とエネルギー」  
西村 吉雄 元日経 BP 社編集委員、元早稲田大学政治経済学術院客員教授

## 第三部 パネル・ディスカッション

上記 6 名の講演者をパネリストに迎え、市民の皆様とともに議論します。

### **■効果**

食とエネルギーというテーマを中心に市民の方へ正しい情報を伝えて認識を高めていただくことで、今後の地域社会及び日本の発展につなげることが期待されます。

### **■今後の展開**

九州大学大学院農学研究院では、今後も、市民生活に繋がる重要な社会問題をテーマにし、市民と専門家との討論の場を設ける予定です。

#### **【お問い合わせ】**

大学院農学研究院准教授 姜 益俊 (かん・いつじゅん)

電話：092-642-7607

FAX：092-642-7607

Mail：[kangnew@agr.kyushu-u.ac.jp](mailto:kangnew@agr.kyushu-u.ac.jp)